

# 2時間で学ぶ ハリウッド映画の歴史

# 目次

- 1890年代: 映画の誕生
- 1900年代: ストーリーの誕生
- 1910年代: 映画文法の誕生
- 1920年代: 映画業界の誕生
- 1930年代: ハリウッド黄金期
- 1940年代: ハリウッド衰退の始まり

- 1950年代: ハリウッド停滞期
- 1960年代: 作家主義の到来
- 1970年代: コーマン帝国
- 1980年代: ハイ・コンセプト
- 1990年代: ハリウッド帝国
- 2000年代: ???

**100年を120分で駆け抜けます**

**10年あたり12分？？？**

**時間がない！　！　！　！**

# 1890年代:映画の誕生

# 1890年代出来事

- ・『ストランド・マガジン』で読み切りのホームズ短編小説の連載を始める(1891年)
- ・日清戦争(1894年)
- ・西部開拓時代の終焉
- ・エッフェル塔建設中
- ・伊藤博文2回目の総理大臣

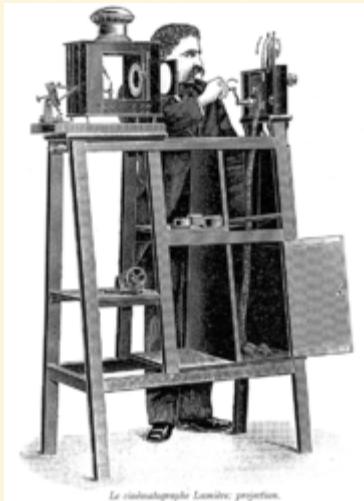
# エジソン

- 1891年にキネトスコープを発明
- Edison Kinetoscope films



# リュミエール兄弟

- 1895年にシネマトグラフを発明
- ラ・シオタ駅への列車の到着



# 1890年代まとめ

- 映像の発明
- 録画して再生できるようになった
- これまでのメディア体験とは別の体験ができるようになった

# 1900年代: ストーリーの誕生

# 1900年代出来事

- 金本位制に移行(1900)
- ノーベル賞創設(1901)
- ライト兄弟が初めて人力飛行に成功(1903)
- 日露戦争(1905)

# メリエス

- ・フランスではメリエスが映画を製作
- ・『月世界旅行』(1902)



# エドWIN・ポーター

- 『アメリカ消防士の生活』(1902)
  - クロスカッティング手法の発明
- 『大列車強盗』(1903)
  - 口ヶ撮影、カメラ移動撮影、並行編集
  - 西部劇の元祖

# クロスカッティング

異なる場所で同時に起きている2つ以上のシーンについて、それぞれのショットを交互に繋ぎ、集中して見て欲しい部分を物語の時間的流れを無視して繰り返す手法

# 1900年代まとめ

- 映画は現実に起きたことをそのまま上映するのではなく、編集が行われ、物語るものへと移行していった

# 1910年代: 映画文法の誕生

# 1910年代出来事

- タイタニック号沈没(1912)
- 第一次世界大戦(1914~1918)
- ロシア革命(1917)
- 米騒動(1918)

# 映画史

# グリフィス

- ・ハリウッドの父と言われている
- ・映画作りを分業体制にした
- ・役割の作成
- ・技法の発明
- ・古典的ハリウッド映画を作ったとされている
- ・ハリウッドにセットを作り映画を撮影した

# 分業体制

- 作品制作部門(映す内容を考える)
- 技術開発部門(現像、フィルムの処理)

# 役割

- 監督
- カメラマン
- 照明
- セットデザイナー

# 技法の発明

- シーンとショット
- ディープスペース
- パン撮影
- ショット、切り返しショット
- インタータイトル

# 古典的ハリウッド映画とは

1つの大原則と、2つの小原則から成り立っている

## 大原則

- 物語を前提なしに混乱なく理解できる

## 大原則を支える小原則

- 空間の連續性
- 時間の連續性
- 物語の型

# 空間の連續性

- ミザンセン(真ん中辺りやや上方に中心人物が映る)
- カメラワーク (観客に意識させないカメラの動きとういうのが基本)
  - パン撮影
  - チルトショット(上下移動)
  - ズームイン, ズームアウト
  - トラッキングショット(レールを移動しながら)
- 180度ライン

# 時間の連續性

- ・シーンごとに出で事は原則としては1回提示され
- ・繰り広げられる出来事は单線的時間、過去から未来へ
- ・例外として、フラッシュバックのような单線的時間を複雑化するテクニックも許された

# 物語の型

## 基本的構造

日常 → 事件 → 解決(別の日常)

主人公を中心とする登場人物の心理の動きが動因となって出来事が別の出来事を引き起こす

# 『散り行く花』

“ロンドン・ライムハウスを舞台に、15歳の少女ルーシーと中国人青年チェン・ハンの儚い恋と死を描く悲劇。”

URL

<https://www.youtube.com/watch?v=xi0U297CO3M>

# 1910年代まとめ

- ハリウッドという土地の開拓
- 映画技法の発明
- 映画撮影の基礎ができた

# 1920年代:映画業界の誕生

# 1920年代出来事

- ・自家用車やラジオ、洗濯機、冷蔵庫等の家電製品が普及
- ・ジャズの誕生
- ・リンドバーグ大西洋単独横断飛行
- ・ウォール街大暴落
- ・フィッツジェラルド
- ・ベーブ・ルース

# 映画業界では

- 投資が集まる
- 映画会社がたくさんできた
- スター誕生
- ジャンルの増殖
- アカデミー賞が始まる(1929)

# 映画業界の成長

## 投資

7800万ドル -> 7億8000万ドル以上 (10倍以上)

## 観客

4000万人 -> 8000万人以上 (2倍以上)

# 映画会社

- ビッグ3 + リトル5
- 劇場を買いあげる
- 制作・配給・上映する会社が増える
- 供給側は上映先がある安心感
- 公開側はプログラムを埋めるだけの作品の確保が安定してできる

# ビッグ3

- ファース・トナショナル
- パラマウント
- メトロ・ゴルドワイン

# リトル5

- ユニバーサル
- フォックス
- ワーナー・ブラザーズ
- 製作者配給会社
- フィルム・ブッキング・オフィス

# スターの誕生

- チャップリン
  - コメディアンとして大人気
  - 『キッド』(1921年)、『黄金狂時代』(1925年)
- グロリア・スワンソン
  - お色気女優として人気を博した
  - 『サンセット大通り』でも取り上げられた女優
- ルドルフ・ヴァレンティノ
  - 同時代のセックス・シンボルとして絶大な人気
  - 『シーク』(1921)、『血と砂』(1922)

# ジャンルの誕生

大作映画とB級映画の2つが作られるようになった

## B級映画のジャンル

- 西部劇
- ホラー

## 対策映画のジャンル

- 反戦争映画

# 1920年代まとめ

- 映画制作、配給、上映の流れができた
- 役者、ジャンルと映画の注目点が増えていく

# 1930年代:ハリウッド黄金時代

# 1930年代出来事

- ブロック経済
- ニューディール政策
- ドイツでナチスが政権を獲得する(1933)
- 二・二六事件(1936)
- 日中戦争(1937)
- スwing・ジャズ

# 1930年映画事情

- トーキー本格化
- 4つのジャンル拡大
- 映画製作倫理規定の成立
- アメリカ文化として映画

# トーキー本格化

- 映像と音声が同期した映画
- 1927年『ジャズ・シンガー』が最初の長編トーキーとされている
- 再生方式
  - サウンド・オン・フィルム方式
  - サウンド・オン・ディスク方式
- 音を使った映画手法
  - サウンドブリッジ
  - オフスクリーンサウンド

# 4つのジャンル拡大

- ミュージカル
- ギャング
- ホラー
- コメディ

音楽や効果音が生かせるジャンルの映画が主流となる。

しかし、犯罪映画などが与える影響を憂慮する声も高まる。

# 映画製作倫理規定の成立

- ダニエル・A・ロード神父が映画が子供に与える影響を懸念していた
- 政府からの介入を防ぐために自主規制を遵守するよう~~に~~制定
- 内容は主に2つ
  - 禁止項目
  - 条件付き許可項目
  - 詳しくはヘイズ・コード

規定を設けるほど大きくなった産業になった

# アメリカ文化として映画

30年代後半に名作がたくさん作られる

- オズの魔法使い、駅馬車、風と共に去りぬ（アカデミー賞10部門獲得）
- 年間400本の作品が公開
- 7億ドル以上の収益
- アメリカ経済で11番目の巨大産業

# 1930年代まとめ

- 映像にプラスして音がついた
- 映画文化がアメリカのメインカルチャーになっていった時代

# 1940年代出来事

- 第二次世界大戦
- アメリカ、テレビの放送が開始(1941)
- ハリウッド映画の成熟期

# ハリウッド業界はどういうことがあったか

- 2人の映画監督がハリウッドへ
  - アルフレッド・ヒッチコック
  - オーソン・ウェルズ
- ハリウッド映画の衰退の始まり

# アルフレッド・ヒッチコック

- 作品(ハリウッドで制作したもの)
  - 『レベッカ』(1940)
  - 『ロープ』(1948)
  - 『めまい』(1958)
- 功績
  - 物語の構成を複層可
- より知るには
  - 『定本 映画術 ヒッチコック・ト リュフォー』
  - 『アート・オブ・ヒッチコック』

# オーソン・ウェルズ

- 作品
  - 『市民ケーン』(1941)
- 特徴
  - 多重多層的な凝った構成
  - ディープフォーカス
  - 広角レンズの多用
  - にカメラを収める穴を掘ってまで拘ったローラングルの多用

# ハリウッド衰退の始まり

- 1946年、ビッグ5 + リトル3への独占禁止法の判決
  - 劇場チェーンの分離
  - ブロック・ブッキングなどの慣行の廃止
- TVの登場
  - 1946年をピークに映画は衰退。1957年にピーク時の7割減(興行収益)
- 赤狩り
  - 政府による映画の内容の検閲がおこなわれる

# 1940年代まとめ

- 成熟したハリウッド映画を発展させた2人の人物がいた。
- 映画会社の再編がおきた
- 虚無的・悲観的・退廃的な時代を反映した映画の出現があった

# 1950年代出来事

- ・ ヴェネツィア映画祭で『羅生門』がグランプリ受賞(1951)
- ・ 『ゴジラ』公開(1954)
- ・ 冷戦

# ハリウッド業界はどういうことがあったか

# 映画業界

- 赤狩りの影響で作品の勢いはあまりない
- ハリウッド黄金期から停滞期へ
- 独占禁止法影響で独立系制作会社が多数出現

# 映画の視聴環境

TVの登場によりスクリーンで映像を見るだけの体験以外も提供する必要が出てきた。

## ワイドスクリーン

- シネマスコープ
- 横縦比は2.35:1
- シネスコ以前はビスタ・サイズと呼ばれるもの
- 横縦比が1.37:1

# 3D映画

- スクリーンを2つ並べる
- 赤青のメガネをかけて視聴
- 『ダイヤルMを廻せ!』で本格的に採用

# ドライブインシアター

- ・車に乗ったまま映画が見れる



# 映画の内容

# キワモノ映画

- ・セックスや暴力を描く映画が増える
- ・映画製作者配給会社の認可を受けていない映画が量産される
- ・70年代以降にロジャー・コーマンが出て来るがその下地がこの時期にできる

# 女優

- ・グレース・ケリー
- ・オードリー・ヘプバーン
- ・マリリン・モンロー

共通するのは家庭的で優しく、男性を暖かく包み込む  
ような女性像を演じた女優が人気を集めた

# 男優

- ・マーロン・ブランド
- ・エルヴィス・プレスリー
- ・ジェームズ・ディーン

スターが演じる役として共通するのは大きな社会に対してのなにもできないことに関して悩み、悩んでいる自分に対して生の根拠を見出すような役が求められた。

# SF作品の登場

- ・『月世界征服』『宇宙戦争』などSF作品が登場する。
- ・科学技術に対する口マンと不安

# 1950年代まとめ

- ・ハリウッド全体としては沈んでいた時期
- ・光る名作などはあるものの行き詰まり

# 1960年代出来事

- ・ ヌーヴェルヴァーグという運動がフランスで起きる
- ・ ベトナム戦争(1960~)
- ・ ケネディ暗殺(1963)
- ・ マルコムX暗殺(1965)
- ・ マーティン・ルーサー・キング暗殺(1968)
- ・ アポロ11号が月着陸に成功(1969)

# ハリウッド業界はどういうことがあったか

# ハリウッドの大きな対立

ハリウッドは商業主義映画と文化創造主義映画をつくっている。

# 1960年代商業主義

- 『ウエストサイド物語』(1961)
- 『マイ・フェア・レディ』(1964)
- 『サウンド・オブ・ミュージック』(1965)
- 『アラビアのロレンス』(1962)
- 『クレオパトラ』(1963)↓
- 『ドリトル先生の不思議な旅』(1967)↓
- 『スター』(1968)↓

大作を作れば成功する時代ではなくなり、映画会社の赤字が膨らむ

# アメリカン・ニューシネマの登場

- 『卒業』(1967)
- 『イージー・ライダー』(1969)
- 『俺たちに明日はない』(1967)

反体制的な人物が体制に闘いを挑むか刹那的な出来事に情熱を傾けるが、最後には体制側に圧殺されるか、あるいは個人の無力さを思い知らされる。

# 1960年代まとめ

- 大作映画の失敗
- 作家主義の到来(アメリカン・ニューシネマ)
- キューブリック登場！

# 1970年代出来事

- ・ビートルズ解散(1970)
- ・オイルショック(1973)
- ・アップルコンピュータが設立。Apple II発表(1976)

ハリウッド業界はどういうことがあったか

# ハリウッド大復活

# 産業構造の転換

- ブロックバスター映画

“ 1 億ドル以上の製作費をかけ、大規模の宣伝を行う大作映画のこと。 ”

- コングロマリット化
  - テレビ業界と緊密な関係

# ハイ・コンセプト

- わかりやすく簡潔で話題性のあるアイディア
  - ゴールデンタイムにCM
  - 全国一斉封切り

## 代表例

- 『JAWS/ジョーズ』(1975)
- 『スター・ウォーズ』(1977)
- 『ET』(1982)

# パニック映画

- ・『ポセイドン・アドベンチャー』(1972)
- ・『タワーリング・インフェルノ』(1974)
- ・『未知との遭遇』(1977)

# コメディ映画

- ・『アニマル・ハウス』(1978)
- ・『ゴースト・バスターズ』(1984)
- ・『ビバリーヒルズ・コップ』(1984)

# プロダクションコードの廃止

- レイティング・システム
  - PG-12
  - R
  - M
  - X

# スター作家

- キューブリック
- ロバート・アルトマン
- ジョン・アヴィルドセン
- デヴィッド・リンチ
- スピルバーグ
- etc...

# ロジャー・コーマン

- 映画監督、プロデューサー
- ニューワールド・ピクチャーズ設立
- 映画監督
  - キワモノ映画
  - モンスター・パニック映画の元祖
- 映画人の発掘

~~映画学校を卒業したばかりの若手をこき使っていた~~

# 発掘した監督

- ・ジョナサン・デミ / 『羊たちの沈黙』
- ・ジェームズ・キャメロン / 『タイタニック』
- ・ロン・ハワード / 『アポロ13』
- ・フランシス・コッポラ / 『ゴッドファーザー』
- ・ウッディ・アレン / 『ミッドナイト・イン・パリ』
- ・マーティン・スコセッシ / 『タクシードライバー』
- ・ブライアン・デ・パルマ / 『スカーフェイス』

# 発掘した役者

- ロバート・デ・ニーロ / 『ゴッドファーザー PART II』
- ジャック・ニコルソン / 『チャイナタウン』
- デニス・ホッパー / 『ブルーベルベット』
- チャックノリス / チャック・ノリス・ファクト
- シルヴェスター・スタローン / 『ロッキー』

# 1970年代まとめ

- 映画業界の産業構造の転換
- 大量のスター作家誕生
- ロジャー・コーマンすげえな

# 1980年代出来事

- ファミコン発売(1983)
- Macintosh発売(1984)
- Windows発売(1985)
- チャレンジャー号爆発事故(1986)
- ブラックマンデー(1987)
- 昭和->平成(1989)

# ハリウッド業界はどういうことがあったか

# 水平統合

- ビデオディッキ
  - 80 -> 82 年で15倍。3割の家庭に普及
- ケーブルテレビ
  - 他国への広がりにも繋がる
- 20-30億の超大作
  - 広告費と収益の関係性が計算できるようになる

監督

# 新作家主義

- マーティン・スコセッシ
  - 『エイリアン』 (1979)
  - 『ブレードランナー』 (1982)
- ジェームズ・キャメロン
  - 『ターミネーター』 (1984)
  - 『エイリアン2』 (1986)

- オリバー・ストーン
  - 『プラトーン』(1986)
  - 『ウォール街』(1987)
  - 『JFK』(1991)

# 女性監督

- マーサー・クリッジ
  - 『アップタウン・ガール(Valley Girl)』 (1983)
- スザン・シーデルマン
  - 『マドンナのスザンんを殺して』 (1985)

# アフリカ系アメリカ人監督

- スパイク・リー
  - 『スクール・デイズ』(1988)
  - 『ドゥ・ザ・ライト・シング』(1989)
  - 『マルコムX』(1992)
- ジョン・シングルトン(24歳でデビュー)
  - 『ボーイズ'ン・ザ・フッド』(1991)
- マリオ・ヴァン・ピーブルズ
  - 『ニュー・ジャック・シティ』(1991)

# 役者

# 代表的な男優

- スタローン
  - 『ランボー』(1982)
  - 『ランボー2/怒りの脱出』(1985)
  - 『ランボー3/怒りのアフガン』(1988)
- シュワルツェネッガー
  - 『ターミネーター』(1984)
  - 『コマンドー』(1985)

- メル・ギブソン
  - 『リーサル・ウェポン』(1987)
  - 『リーサル・ウェポン2/炎の約束』(1989)
- ハリソン・フォード
  - 『ブレードランナー』(1982)
  - 『インディ・ジョーンズ/魔宮の伝説』(1984)
- ケビン・コスナー
  - 『アンタッチャブル』(1987)
  - 『フィールド・オブ・ドリームス』(1989)

# 代表的な女優

- シガニー・ウィーバー
  - 『エイリアン』(1979)
- ジョディ・フォスター
  - 『ホテル・ニューハンプシャー』(1984)
  - 『告発の行方』(1988)
- デミ・ムーア
  - 『ゴースト/ニューヨークの幻』(1990)
- ジュリア・ロバーツ
  - 『プリティ・ウーマン』(1990)

# メガコングロマリット

# 映像

- ケーブルの有料/無料、一般ネットワーク放送、ローカル局の料金の差別化
- ビデオの販売/レンタル
- 飛行機の国際線/国内線での上映

# 紙関連

- ノベライズ
- 映画製作秘話
- 監督、俳優のインタビュー

# 玩具/アパレル

- フィギュア
- ロゴ入りTシャツ
- ショッピングモールの映画館で観てからすぐ買える

# テーマパーク

- ユニバーサル・スタジオ

# 映画の内容

# 技術

- ドルビーサラウンド
- CG

# 古典的ハリウッド映画の引用

- 大学で映画の勉強をした監督
- ビデオやテレビで繰り返し観た監督
- 作家とファンの解読合戦

# 若者向け映画(youthpix)

- ホラー
  - 13日の金曜日
  - エルム街の悪夢
- コメディ
  - バック・トゥ・ザ・フューチャー
  - ホームアローン

# 1980年代まとめ

- 映画監督が映画制作の中心に
- 映画のグローバル化が進む
- 映画のメディアミックスが進んでいく

# 1990年代出来事

- 東西ドイツ統一(1990)
- www が公開される(1991)
- Mosaic 公開(1993)
- マザー・テレサ死去(1998)
- ユーロ発行(1999)

# ハリウッド業界はどういうことがあったか

- ・ 映画会社のさらなる巨大化
- ・ アクション映画から物語への回帰

# ハリウッド王国の拡大

- メディア会社の買収
- 海外にシネコンを建設
- ビデオ関連収益(1本あたり3億ドル以上)

# ハリウッドを支配する6社

- 20世紀フォックス
- ヴィアコム
- シーグラム(現在はユニバーサル)
- ソニー・ピクチャーズ・エンタテインメント
- ワーナー・ブラザーズ
- ディズニー

各会社はメディア、製作、配給を買収し膨張していく

# 独立系

- 80年代前半に増加
- 80年代終わりにはコングロマリット化した会社によって衰退
- 生き残った2つの企業
  - ニュー・ライン・シネマ
  - ミラマックス

# ニュー・ライン・シネマ

キャラクター商売で収益をあげるのが得意

- 13日の金曜日シリーズ
- エルム街の悪魔シリーズ
- ラッシュ・アワーシリーズ
- ミュータント・タートルズシリーズ

# ニュー・ライン・シネマその後

- 1994年にターナー・ブロードキャスティング・システムに買収される
- 1996年にはタイム・ワーナー傘下になる
- 2008年にタイム・ワーナーの子会社のワーナー・ブラザーズに吸収される

# ミラマックス

- 1979年にワインスタイン兄弟が設立
- インデペンデント映画を上映する配給会社
- 炎上商法が得意
- 『パルプ・フィクション』(1994)などが有名

# ミラマックスのその後

- 1993年にディズニーに売却
- 2010年に投資グループのフィルムヤード・ホールディングスに売却

# 映画祭

映画祭がインディーズの作家が発見される場所となる。また、受賞した映画は箔が付いているのでビジネスとして売り出しやすくなる

- ニューヨーク映画祭
- カンヌ国際映画祭
- モントリオール世界映画祭
- サンダンス映画祭

# アクション映画から物語への回帰

- 1980年代はアトラクション映画の時代だった。
  - ハイ・コンセプト
  - アクション
  - スペクタクル
- 1990年代は物語中心に
- 演劇界の劇作家が脚本を書くようになる

# 物語映画

- 『羊たちの沈黙』(1991)
- 『ターミネーター2』(1991)
- 『ダンス・ウィズ・ウルブス』(1990)
- 『フォレスト・ガンプ』(1994)
- 『グッド・ウィル・ハンティング』(1997)

# 劇作家

- トム・ストッパード
  - 『恋におちたシェイクスピア』(1998)
- サム・メンデス
  - 『アメリカン・ビューティー』(1999)

# 1990年代まとめ

- ギガコングロマリット化
- 物語映画への回帰

# 参考文献

- 新版ハリウッド100年史講義
- フランス映画史の誘惑
- 世界シネマ大事典
- アメリカに見るメディア業界の買収合戦

# 関連イベント

- ヒッチコック/トリュフォー

# 動画

- Edison Kinetoscope films
- ラ・シオタ駅への列車の到着
- 月世界旅行
- アメリカ消防士の生活
- 大列車強盗